

2025 年度 危険物海上運送規則トレーニングコースについて

【 講座の概要 】

2 日 コース	・ 個品危険物の海上運送に関し、規則の適用、分類と識別、容器包装、発送手続、隔離、少量危険物等について IMDG コード及び危険物船舶運送及び貯蔵規則（危規則）の全般的要求事項を解説すると共に、演習を行います。 ・ 修了試験を行い、合格者には修了証書を発給します。 ・ どなたでもご参加いただけます。
1 日 コース	・ 2 日コースの説明事項を踏まえ、IMDG コード及び危規則の規定について幅広く解説すると共に、演習を行います。 ・ 修了証書を更新します。 ・ 過去に 2 日コースを受講された方が対象です。

定 員： 各会場 12 名

※ 定員となり次第締め切ります。

受講料： 2 日コース＝49,500 円 / 1 日コース＝27,500 円 （消費税込）

【年間開催スケジュール】（講義時間帯 9:30～17:00）

2 日 コース

	開催日	場所
横 浜	5 月 22 日(木)－23 日(金)	日本海事検定協会 横浜海事ビル 7F 会議室 (神奈川県横浜市中区海岸通 1 丁目 3 番) https://www.nkkk.or.jp/branch/ →[関東エリア]→[安全技術室 収納検査クリアリングハウス]→[地図]
	5 月 29 日(木)－30 日(金)	
	2 月 5 日(木)－ 6 日(金)	
名古屋	7 月 24 日(木)－25 日(金)	ウインクあいち 13F 1309 会議室 (愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38) https://www.winc-aichi.jp/
大 阪	6 月 12 日(木)－13 日(金)	アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 901 号室 (大阪府大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 9F) https://abc-kaigishitsu.com/osaka/shinosaka/
神 戸	8 月 7(木)－ 8 日(金)	三宮研修センター 6F 601 会議室 (神戸市中央区八幡通 4-2-12 カサベラ FRII ビル) https://f-road.co.jp/kenshu/about/
福 岡	1 月 15 日(木)－16 日(金)	リファレンスはかた近代ビル 1F 105 会議室 (福岡市博多区博多駅東 1 丁目 1-33) http://re-rental.com/kindai/access/

1 日 コース

	開催日	場所
横 浜	7 月 16 日 (水)	日本海事検定協会 横浜海事ビル 7F 会議室 (神奈川県横浜市中区海岸通 1 丁目 3 番) https://www.nkkk.or.jp/branch/ →[関東エリア]→[安全技術室 収納検査クリアリングハウス]→[地図]
	2 月 13 日 (金)	
大 阪	1 月 23 日 (金)	アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 901 号室 (大阪府大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 9F) https://abc-kaigishitsu.com/osaka/shinosaka/

危険物海上運送規則トレーニングコース（2日コース）時間割（13時間）

時 間	項 目	内 容
【1日目】 2.5 時間	背景、一般原則及び規則の適用	・ 国際合意の必要性及び危険物運送国際規則の体系 ・ 国際規範：条約（1974 年 SOLAS 第Ⅶ章 A 部） ・ 国際基準：IMDG コード ・ 国内規制：船舶安全法、危険物船舶運送及び貯蔵規則 ・ 演 習
2.0 時間	危険物の識別	・ 分類方式 ・ 容器等級 ・ 試験方法及び判定基準 ・ 品名及び国連番号の決定 ・ 演 習
2.0 時間	容器包装	・ 容器包装の基準 ・ 容器包装の選択 ・ 容器試験 ・ 演 習
【2日目】 1.5 時間	発送手続	・ 標札等の貼付、品名等の表示 ・ オーバーパック ・ コンテナ ・ 演 習
1.0 時間	隔 離	・ 隔離の原則 ・ 隔離表、特別要件、隔離グループ、相互の危険な反応 ・ 演 習
0.5 時間	運送書類及び積載	・ 運送書類 ・ 甲板上積載と甲板下積載 ・ 演 習
1.0 時間	少量危険物	・ 少量危険物として運送するための要件 ・ 少量危険物として運送することの利点 ・ 演 習
0.5 時間	その他関連事項	・ 特例措置 ・ 補完資料（IMDG Code Supplement） ・ 規則のアップデート
2.0 時間	修了試験	

担当講師： 一般社団法人 日本海事検定協会 安全技術室

＊ 修了試験合格者には修了証書を発給します。

危険物海上運送規則トレーニングコース（１日コース）時間割（6.5 時間）

時 間	項 目	内 容
0.5 時間	規則の体系と適用	・ 国際合意の必要性及び危険物運送国際規則の体系 ・ 国際規範：条約（1974 年 SOLAS 第Ⅶ章 A 部） ・ 国際基準：IMDG コード ・ 国内規制：船舶安全法、危険物船舶運送及び貯蔵規則
1.5 時間	危険物の識別	・ 分類方式 ・ 容器等級 ・ 試験方法及び判定基準 ・ 品名及び国連番号の決定 ・ 演 習
1.0 時間	容器包装	・ 容器包装の基準 ・ 容器包装の選択 ・ 容器試験 ・ 演 習
1.5 時間	発送手続	・ 標札等の貼付、品名等の表示 ・ オーバーパック ・ コンテナ運送 ・ 演 習
0.5 時間	隔 離	・ 隔離の原則 ・ 隔離表、特別要件、隔離グループ、相互の危険な反応 ・ 演 習
0.5 時間	運送書類及び積載	・ 運送書類 ・ 甲板上積載と甲板下積載 ・ 演 習
0.5 時間	少量危険物	・ 少量危険物として運送するための要件 ・ 少量危険物として運送することの利点 ・ 演 習
0.5 時間	まとめ	・ その他及び質疑応答

担当講師： 一般社団法人 日本海事検定協会 安全技術室

* 修了証書を更新します。